

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：公益社団法人袋井市スポーツ協会]

[記載日：令和4年3月9日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 令和3年度より本協会は、静岡県より公益社団法人として認定を受けました。事業運営に当たって適用される法令「公益社団法人及び公益財団法人に関する法律」に基づいて設立される公益社団法人です。適切な団体運営、さらに事業運営を確保するための役員等の体制を整備しております。公益認定元年である本年は、静岡県や袋井市の指導を受けスポーツ団体ガバナンスコードの遵守に努めてきました。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)  該当なし	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 本協会の事業運営は、スポーツ文化の定着を図るため、地域活動のより一層の普及に努めるとともに、競技スポーツの振興により競技力向上を図る一方、健康づくりを推進し、人とのふれあい、仲間づくりを通して、心豊かな市民生活に寄与することを目的とする。以下の事業に取り組んでいます。 (1) 各種のスポーツ大会、教室、講習会等の企画及び運営に関する事。 (2) 各種スポーツ指導者等の養成、登録、派遣及び競技力の向上に関する事。 (3) 支部及び地域スポーツの普及、推進に関する事。 (4) 市民へのスポーツ情報の収集及び提供に関する事。 (5) スポーツ団体の育成と相互間の連絡、調整に関する事。 (6) 袋井市のスポーツ振興に顕著な功績があった個人・団体の表彰に関する事。	

<p>(7) 袋井市や各種団体との連携及びその施策への協力に関すること。</p> <p>(8) 袋井市から受託するスポーツ振興事業に関すること。</p> <p>(9) 指定管理者として行うスポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興事業に関すること。</p> <p>(10) その他、この法人の目的達成に必要な事業</p> <p>今年度は、コロナの感染状況、緊急事態宣言、東京 2020 の影響をうけ事業計画の変更が若干ありましたが、公益社団法人袋井市スポーツ協会活動実施のためのガイドライン（新型コロナウイルス対応）を策定し、段階的な制限を設けるなど、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大を防ぎつつ、より安全に活動再開をすることができました。その結果、2年ぶりにマラソン大会実施することができました。また袋井市運動施設等優先予約に該当する袋井市スポーツ協会の加盟している団体の会員規定を制定しました。その結果、スポーツ施設の二重予約や直前のキャンセルが大幅に減少し公正な施設利用の運用が可能になりました。現在、公益社団法人の昇格に向けて今まで以上に、健全な運営に努め、グッドガバナンスを心がけております。</p>	
<p>(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。</p>	A
<p>（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）</p> <p>組織役員の構成については、ジェンダー平等の実現のため、女性理事の登用を積極的に行なっております。前回の改選比で30%の理事が新理事であり人材の新陳代謝を図りました。若い人材が増えたことでDXの理解が進みました。例えばマラソン大会などのエントリーや返金システムにDXを導入したり、本協会の活動をSNSを利用し発信をしたりする機会が増えました。また、多様性の確保ができるよう事業運営に取り組んでおります。組織のトップである会長は女性です。また理事の女性比率は40%とスポーツガバナンスコードに準じた体制を整えております。</p>	
<p><b>原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b></p>	
<p>(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。</p>	A
<p>（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）</p> <p>当協会のホームページ、インスタグラム、FaceBookや、袋井市の広報誌に掲載しております。</p>	
<p><b>原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b></p>	
<p>(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。</p>	A
<p>（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）</p> <p>毎年、役職員全員に対しガバナンス研修を開催しております。本年度は、オンデマンド方式によるスポーツガバナンスについての研修会を行いました。本年度、公益財団法人袋井市スポーツ協会 倫理・懲戒規程を制定し、懲罰委員会を</p>	

設定しコンプライアンスを遵守しております。コンプライアンス委員会は現在、設置しておりませんが、次期改選時に新規設置予定です。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) スポーツ少年団に向けて、指導者、保護者への研修会を毎年開催しております。昨年度はコロナの影響のため中止しましたが、今年度は、感染予防を万全に開催しました。また公益財団法人袋井市スポーツ協会 倫理・懲戒規程、及び袋井市運動施設等優先予約の会員規定を制定しその説明会を開催しました。	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公認会計士、行政書士の資格をもつ顧問会計士など法律、財務、会計の専門家に。日常的に助言を受けることができる連絡体制を整えています。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 静岡県、袋井市の指導のもと、財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守するよう努めています。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公認会計士の監査、指導のもと、適切に実施しています。	
<b>原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 令和 2 年本部事業報告、令和 3 年度本部事業計画、令和 2 年貸借対照表、令和 3 年予算書(一般)、令和 3 年予算書(指定)を開示しております。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) アンケート調査の結果やイベントの報告、組織運営に関わる情報をホームページや市の会報誌に積極的に開示しております。	

**原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。**

自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか  
(ある場合は下欄に記述)

原則 ■ について

A

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

公益財団法人袋井市スポーツ協会 倫理・懲戒規程に合わせて、袋井市運動施設等優先予約に該当する袋井市スポーツ協会の加盟している団体の会員規定を制定しました。その結果、スポーツ施設の二重予約や直前のキャンセルが大幅に減少し公正な施設利用の運用が可能になりました。今後はコンプライアンス委員会の整備が必要と思われます。